

第23回  
しまね  
映画祭

Shimane Film Festival

11月8日(土)

【会場】大田市民会館  
大ホール

四十九日のレシピ

●上映時間 14:00~  
〔2013年 カラー 129分〕



永作博美主演で贈る感動作が遂にリリース!

母が遺したのは、  
人生の処方箋でした。

母が遺したレシピに導かれ、母の人生を旅する、  
49日間の感動の物語。

NHKでドラマ化もされた伊吹有喜の人気小説を、「百万円と苦虫女」「ふがいない僕は空を見た」のタナダユキ監督が映画化。母が残したあるレシピによって、離れ離れになっていた家族が再び集い、それぞれが抱えた心の傷と向き合いながら再生していく姿を描く。妻の乙美を亡くして生きる気力を失っていた良平のもとに、夫の不倫で結婚生活が破たんし、離婚を決意した娘の百合子が戻ってくる。そして、そんな2人の前に、派手な服を着た不思議な少女イモが現れる。イモは、乙美から頼まれていた四十九日までの家事を引き受けにやってきたと言い、乙美が残したというレシピの存在を伝える。百合子役で永作博美が主演。父・良平役の石橋蓮司、イモ役の二階堂ふみらが共演。

■監督 タナダユキ ■キャスト 永作博美/石橋蓮司/岡田将生/二階堂ふみ/原田泰造/淡路恵子

第23回 しまね映画祭テーマ作品

●上映時間 18:30~  
〔2012年 カラー 77分〕

世界の果ての通学路

あなたは信じられますか。毎日往復30kmの通学路を、  
たった4時間で駆け抜ける兄妹がいることを。

ケニアの15kmものサバンナを、命懸けで駆け抜けるジャクソン。360度見渡す限り誰もいないパタゴニア平原を、妹と共に馬に乗って通学するカルロス。モロッコの険しいアトラス山脈を越えて、女友達3人と寄宿舎を目指すザヒラ。幼い弟たちに車椅子を押されながら、舗装されていない道を学校に向かうインドのサムエル。世界各国の子供たちが命懸けで学校に通う通学路に密着した、驚きと感動のドキュメンタリー。地球上の全く異なる4つの地域の通学路に密着し、数十キロの危険な道りを通して、未来を切り開こうとする子供たちの姿を捉える。雄大な地球の姿に魅了されながら、子供たちの学習に対する高いモチベーションと、その意志をサポートする家族の愛と勇気ある決断に胸を打たれ、激しく心揺さぶられる感動のドキュメンタリー。監督は、12年間に渡ってケニアに通い詰め、『マサイ』を撮り上げたパスカル・ブリッソン。自然と調和する人間の姿を追ってきた監督ならではの、人はずいぶん環境でも学ぼうとするのか、その本質と意義に迫る。



■監督 パスカル・ブリッソン  
■脚本 マリー=クレール・ジャヴォイ

■入場料 前売券 一般:1,000円 (いずれか1作品鑑賞出来ます)

当日(1作品につき) 一般:1,300円/シニア(60歳以上)・会員:1,000円/中高生:500円/小学生以下:無料

【プレイガイド】大田市民会館 / サンレディー大田 / パル(インフォメーション) / 石橋文具店 / ビーバード(仁摩町)  
【主催】大田市民会館 / 大田市文化協会 / しまね映画祭実行委員会 / 文化庁  
【後援】大田市教育委員会  
【お問合せ】大田市民会館(大田市大田町大田イ128) Tel. 0854-82-0938